

(様式第4号)

第8回武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	平成28年11月16日 午後7時00分から午後9時00分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	会長児玉卓文委員、新井徳委員、伊藤孝委員、北澤千津子委員、小山ひとみ委員、桜井久美子委員、高橋みち子委員、滝沢友子委員、竹内茂委員、成田英雄委員、廣川光子委員、宮島友和委員、山岸誠委員、依田真澄委員 【欠席委員6名】
5 市側出席者	木藤地域自治センター長、依田地域振興課長、下村市民サービス課長 滝沢産業建設課長、藤極丸子・武石上下水道課長、清住武石教育事務所長 大平地域政策係長、小林地域担当職員、岩木隊員、前田隊員
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年11月24日

協 議 事 項 等

全体進行(依田次長)

会議資料の確認及び出欠席委員の確認。

1 開会(児玉会長)

2 地域協議会長あいさつ(児玉会長)

本日は8回目の武石地域協議会の開催。

新たな情報伝達システムの構築について活発なご協議をお願いしたい。

3 報告・協議事項

(1) 新たな情報伝達システムの構築について(武石地域振興課)

(事務局)

市政三者懇談会が10月27日に開催された。市、市議会、市自治連の三者で、毎年1回懇談会が行われている。懇談会へ武石地区自治会連合会から、「市民への情報伝達手段について」議題が提出された。オフトーク通信が廃止され、地域コミュニティの活性化には行政や各種団体、自治会からの情報を住民が共有することが大切であり、また、緊急時や災害時に備える必要から、住民と行政の協働で音声による情報伝達手段を導入できないか、市の考えを聞かれた。

市からは、初期導入時の行政と利用者負担について、加入率確保について、情報弱者の負担軽減について、安定した運営方法について、四点の検討課題と、今後の対応として、地域協議会で課題を検討し一定の方向性を決定し、住民合意のうえで導入していきたいと示された。

新たな情報伝達システムの導入に向け、地域協議会としての方向性を検討願いたい。

(委員) 受信機は個人の持ち物になるが、公費で購入し全戸へ配布しレンタルした場合、料金徴収が大変になる。具体的な運用として新たな住民自治組織が運営するとして毎日定時に放送することは大変、行政で放送してもらえるのか。維持管理費に基金を活用することは厳しいのか。

(事務局) アナウンスの人件費も必要になる。住民自治組織で人件費を負担することになる。

(委員) 武石地域だけ情報伝達の業務を新たに職員に行わせることはできない。住民自治組織で財源を確保してアナウンス委託しなければならない。

(事務局) 先進地では運用業務を地元のスポーツクラブへ委託しているところもある。

(委員) 施設整備を市が行ったとしても管理運営に市が関わることはないということ。

(事務局) 運営費維持管理費に市が新たに負担していくことはない。

(委員) 経費の財源を確保してメンテナンスなどは外部へお願いすることになる。自治会の予算に余裕があれば、住民にかわり自治会費で全額負担するところがあるかもしれない。加入者から徴収するには自治会役員が名簿により徴収をお願いすることになる。会計管理などは住民自治組織の事務局の仕事になる。自治会に加入していない家から自治会が徴収することはできない。

(事務局) よりよい徴収方法を検討しなければならない。11月29日に先進地視察を行うので、参加できる委員さんは事務局へ連絡してほしい。

(委員) 視察の結果報告を次回していただき、地域協議会として一定の方向を決定し、市へ意見書を提出していきたい。

4 その他

(1) 次回以降の会議等日程について

- ・第9回武石地域協議会 12月21日(水)午後7時～
- ・第10回武石地域協議会 1月18日(水)午後7時～

(2) その他

(教育事務所)

ふれあい人権のつどいが12月6日(火)午後6時15分から丸子文化会館セレスホールで開催されますので、ご都合のうえご参加をお願いしたい。

5 閉会(児玉会長)